

大阪市教育振興基本計画 改訂案より

○ 検証・改善サイクルの充実

〈取組内容〉

教育委員会が、2つの最重要目標に対する取組と、取組目標の達成度に基づく各  
 学校園の学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講  
 じることにより、一定水準の教育の質を確保し、その向上を図ります。また、教育  
 委員会の施策について、その効果を検証し改善を図っていきます。

ポイント

- ・学校へ教育振興基本計画をいかに浸透させるか。
- ・どのような目標（指標）にするのか。力点（比率の設定等）をどこに置くか。

ポイント

- ・条例に基づく現行の学校評価とどう連動させるか。

【年度目標】

- ・教育委員会が全市共通の目標（指標）を設定
- ・学校が目標の達成に向けた取組を計画

〈2つの最重要目標〉

- ・安全、安心に関する目標（指標）
- ・学力、体力に関する目標（指標）

〈学校独自の目標〉

- ・学校独自の目標（指標）

学校の取組

目標（指標）の達成状況

評価

評価

区担当教育次長

ポイント

- 目標（指標）の達成状況及び取組の評価をどのように活用するのか。
- ・評価はどのように行うのか。その際に考慮すべき事項は何か。
  - ・評価を何に、どのように活用するのか。教育委員会の施策、学校のカルテ等。

○学校活性化条例に基づく  
現行の学校評価

【運営に関する計画】

校長は教育振興基本計画を踏まえ、目標（指標）と取組を学校協議会の意見を聴き作成

【学校及び学校協議会  
による学校評価】

〈自己評価〉

- ・学校長が評価

〈学校関係者評価〉

- ・学校長の自己評価を踏まえ、学校協議会が評価

校長は学校評価の結果を踏まえ、学校の取組の改善を講ずる